

ダイナモケータイ 防犯ブザー

取扱説明書

このたびは「ダイナモケータイ防犯ブザー」をお買い上げいただきありがとうございます。お使いになる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は保証書を兼ねていますので、紛失しないよう大切に保管してください。誤った使用により生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いませんので、予めご了承ください。

ご使用前に（必ずお読みください）

- ご使用前に必ず、ブザーが鳴るか確認してください。
 - 定期的にブザーが鳴るか、チェックしてください。
（頻繁にLEDライトを使用される場合は、1週間に1回、あまりLEDライトを使用されない場合でも1～2カ月に1回が目安です。）
 - チェック時にブザー音が小さい時には、すぐに電池を交換してください。
※セットされている電池はテスト用ですので、使用の際には新品電池に交換されることをお勧めします。
 - 大音量のブザー音が鳴りますので、他人の耳元で使用しないでください。
- ⚠ 本製品は犯罪を防止したり、安全を保証したりするものではありません。予め、ご了承ください。

⚠ 警告

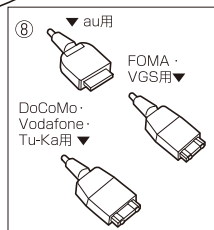
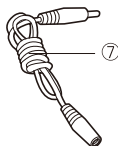
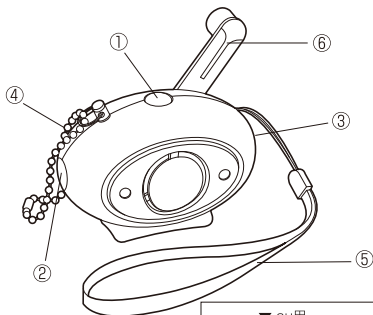
- 点灯中のLEDを直視しないでください。視力障害の原因となるおそれがあります。
- 小児の手の届かないところに保管してください。
- 本製品を修理、改造しないでください。発火したり異常作動する怖れがあります。
- 乾電池は、古いものと新しいものをまぜたり、アルカリ電池とマンガン電池をまぜて使用しないでください。
- 長時間ご使用にならない場合は、乾電池を本体から抜き取ってください。そのまま放置しますと、液漏れ、腐食、発火、故障などの原因となります。

1 各部名称・機能

- ① ライトON/OFFスイッチ
- ② LED ライト (白色)
- ③ 携帯電話充電端子
- ④ チェーン/防犯ブザー (105dB)スイッチ
- ⑤ ストラップ
- ⑥ ダイナモハンドル
- ⑦ 携帯電話機充電ケーブル
- ⑧ 変換コネクター3種

- ・ 赤ラベル … DoCoMo・Vodafone・Tu-Ka用
- ・ オレンジラベル…au用、
- ・ 青ラベル…FOMA・VGS用

※表記の社名または商品名は、各社の商標・登録商標です。



2 LEDライト・防犯ブザー使用方法

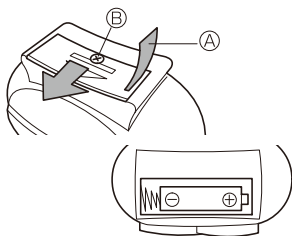
- 1.①のライトON/OFFスイッチを押して、ライトの点灯/消灯ができます。
- 2.④のチェーンを引き抜くと防犯ブザーが鳴り出します。ブザーを止める時は、④のチェーンを元の位置に差し込みます。

- LED(発光ダイオード)は電球と違い消費電力が少なく、寿命が約50,000時間あります。従っていわゆる「電球交換」の必要がありません。
- ストラップを引き抜くと防犯ブザーが鳴り、暗闇でもあなたの場所を知らせ、防犯・護身用に役立ちます。

3 電池の交換 (LEDライト・防犯ブザー用)

⚠ LEDライトおよび防犯ブザーは電池のみで使用可能です。ダイナモハンドルを回転しても使用できません。

- 1.初めて使用する場合は(A)の絶縁シートを抜き取ってください。
- 2.電池を交換する際には(B)のネジをはずし、電池ボタンを矢印の方向にスライドし、⊕、⊖の方向に注意して電池(LRV08タイプ、もしくは23A、A23タイプ)をセットして、再び電池ボタンを閉じ、しっかりとネジをドライバーで固定してください。





禁止

ダイナモハンドルはゆっくりと！

携帯電話を充電される際は、ダイナモハンドルをできるだけゆっくりと回していただきますようお願いいたします。携帯電話の充電ランプ（または充電中などの画面表示）が点灯しますと携帯電話に充電されています。あまり強く回しすぎますと、携帯電話の本体に過大な電圧の電流が流れ、携帯電話機本体の電源が切れたり、充電異常などの表示が表れたりする事があります。**ダイナモハンドルを強く回しても充電時間が短くなる事はありません。**（1秒間に2回転が目安です）万一、携帯電話に異常が見られた場合、純正の充電器をご利用になって安定した電圧電流でしばらく充電していただきますと、通常の状態に戻ります。また、携帯電話機本体に直接接続せず携帯電話充電器を経由して充電したり、電池をはずして充電した場合に携帯電話機が破損する恐れがありますので、絶対にお止めください。



注意

メモリー消失に注意！

携帯電話機は当社製品の使用に関わらず、何らかの原因によって電話帳や登録情報などのメモリーが、突然消失してしまう危険性があります。登録情報はあらかじめ別の方法で控えをとっておくことを強くお勧めします。なお、本製品の使用により一時的に携帯電話が通話できなくなったり、メモリーが消失したりいたしましても、当社では責任を負いかねますので、ご了承の上お使いください。



禁止

普段の充電は純正充電器で…

本製品のご使用はあくまで、純正の充電器が使用できない場合の一時的なご利用を想定して設計されております。日常の充電には携帯電話会社純正の充電器をお使いくださいますようお願い申し上げます。

4 携帯電話充電方法

⚠ 携帯電話の充電はダイナモハンドルを回している時のみ可能です。電池からの充電はできません。ご了承ください。

1. お手持ちの携帯電話の接続端子に合わせて変換コネクターをお選びください。携帯電話機充電ケーブルの一方の、先端プラグにコネクターを接続します。

2. 変換コネクターを携帯電話に接続します。表面で差し込めない場合は、裏面にして差し込んでください。表、裏どちらからでも差し込めます。

※形状の異なるコネクターを無理に

押し込んだりすると破損や故障の原因となります。絶対におやめください。

※一部の機種で使用できない場合がありますので、ご了承ください。

3. ケーブルのもう一方のプラグを携帯充電端子に差し込みます。

※変換コネクターを電話器から抜く時は真っすぐに抜いてください。

4. 充電ケーブルを接続後本体ハンドルを開き、丸いつまみ部分を持って回してください。（回転方向はどちらでも構いません。）充電が開始されると電話機本体が充電中の状態になるはずですので確認してください。目安として3分間（360回転）の充電で連続通話時間は約1～1分30秒程度期待できます。連続待ち受けは約20～30分程度期待できます。（それ以上充電しますと更に長い時間の使用が可能です。）

